

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」

エコミュージアムルームだより 第54号

「朝日町エコミュージアムサテライト散歩」を開催しました!

今年度も「朝日町エコミュージアムサテライト散歩」を9月から11月にかけて計3回開催しました。

町広報で連載していた「朝日町エコミュージアムサテライト散策」から、ウォーキングをしながら2時間程度で巡れるコースを設定。散策には町内外の方からご参加いただきました。

旧荒沢地区散策では、小学校低学年まで荒沢地区に住んでいた松田勝美さんを案内人に迎え、当時の生活の様子を聞きながら散策を楽しみ、集落跡では今もある湧き水を沸かしてコーヒーをご馳走していただきました。

朝日川十景では10箇所あるうちの9箇所を訪れました。白滝へ行く道が新しく整備されており、真正面から迫力のある滝を眺めることができました。また、お昼はナチュラリストの家で美味しいお蕎麦を堪能しました。

松保の大杉に向かう道中、生憎の雪模様となりましたが、大杉に到着するとみなさんその大きさに圧倒されました。また大暮山集落内の八幡神社や萬福寺に祀られている瞽女の墓にも足を運びました。

どこも普段気軽に訪れる事のできない場所でしたので、ご参加いただいた皆様に楽しんでいただけました。



◆2023年のエコミュージアムサテライト散歩開催地◆

9/30…旧荒沢地区（集落跡地）

10/28…朝日川十景（白滝、ヌルマタ沢、朝日鉱泉周辺等）

11/25…松保の大杉（大江町）大瞽暮山地区（八幡神社、瞽女の墓）



「朝日町エコミュージアムと西澤信雄展」を開催しています！

創遊館エコルーム前のエココーナーにて「朝日町エコミュージアムと西澤信雄展」を開催しています。

故西澤信雄氏の著書の紹介や、広報朝日町に掲載されたエコミュージアム関連の記事の掲示、これまで出版したエコミュージアムの小径の展示などを行っています。

また、平成元年（1989）から始まったエコミュージアムの活動を年表にまとめたエコパネルの展示もしておりますので、お立ち寄りの際は是非ご覧いただけましたら幸いです。

※西澤氏の書籍は朝日町立図書館で貸し出しを行っています。



◆朝日町エコミュージアム

サテライト散策

◆①朝日川十景

朝日川渓谷の転石



【DATA】 県道宮宿・白滝線、立木の白倉橋たもとから南西に約0.6km入った河床にあります。

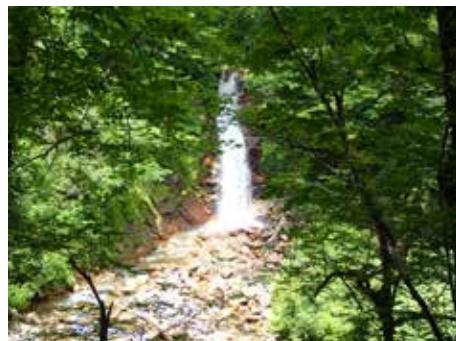
朝日川が大きくカーブしている所の河床には、丸くなつた大小の石がたくさんあります。これら

は洪水の時などに上流部から流れてくる時にころがり、角がとれて丸くなつてきました。中には角張ったままの大きな岩もあり、岸壁から崩れ落ちたものが流れの中で留まっているものと思われます。それらが両岸の木々と共に渓谷の美しい景観を見せてくれています。

ここから、さらに約1km上流には朝日川十景②与市の大岩があります。

◆朝日川十景

⑥朝日の白滝



【DATA】 県道宮宿・白滝線の終点、白滝登山口から南に林道を進み間もなく、立木から約9kmの「しらたきばし」の西側にあります。

朝日川に入る白滝

沢の合流点近くに白滝があります。その水量や高さは朝日川流域随一の滝と言われています。鳥原山から流れる金山沢、白目沢、銅食沢の水が集まつて白滝沢となることから、水量が豊かで落差も大きく、斜面を流れ落ちる際に常に水しぶきが上がり、白く見えることがあります。白滝と名付けられたものと思われます。

江戸時代に庄内松山藩が作製した朝日鉱山の山絵図にも「白瀧」と記してあり、鉱山に出入りする人々も、この滝をながめていたようです。

※「朝日町エコミュージアムサテライト散歩」で訪れた場所を抜粋して紹介しています。

石碑には「天保十二丑八月三十日造立
秋
山釋如両比 越後蒲原郡橋田村 たせ、りん
たき」と刻まれています。

◆瞽女（ごぜ）の墓

【DATA】 大谷から大沼に向かう県道の途中から入った大暮山集落の中ほどの丘に立つ萬福寺の境内にある。



大暮山萬福寺の境

内、宝篋印塔の前に小さな自然石の墓があります。寺にある資料によると「天保十二年（一八四二）越後から瞽女がやって来た。四、五人で組をつくり、目が見えないので前の人のかまき」という瞽女だけが生き埋めになつてしまつた。村人たちは、かわいそうに思い、みんなで和尚に頼み、葬式あげた」と伝えられており、その時に仲間の瞽女達が建てたものです。